「ダンスセラピー研究」投稿規定

平成24年9月1日 改定

平成27年3月31日 改定

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　平成27年11月1日改定

1. 本誌への投稿者（共著者を含む）は、日本ダンス・セラピー協会会員に限る。ただし、編集委員会の決定により会員外の著者に原稿を依頼することができる。
2. 本誌の領域：ダンスセラピー並びにその周辺領域に関する学問の進歩に寄与し、未発表のものとする。
3. 原稿の区分と内容：本誌に掲載する原稿の種類は、以下のように区分する。

|  |  |
| --- | --- |
| 原稿の区分 | 内　容 |
| 1.総説  2.原著  3.研究報告  4.症例報告  5.資料  6.短報  7.活動報告  8.その他 | ダンスセラピーに関する研究における総括および網羅的な解説  ダンスセラピーに関する独創的かつ深い考察に基づく研究論文  原著に準ずるダンスセラピーに関する研究論文  原著に準ずるダンスセラピーの症例を主とする研究論文  ダンスセラピーに関して研究的にまとめられた有用な資料  学術研究大会におけるポスター発表等の、将来的に上記1～5に該当する研究へ結びつく萌芽的研究の報告  ダンスセラピーに関する実践活動などの価値ある報告  上記区分に含まれないが、編集委員会で適当と認められた内容 |

1. 原稿の採択：原稿の採否は編集委員会が指名した2名の査読者による査読結果に基づき編集委員会において決定する。なお、完成原稿になるまでに編集委員会から区分の変更、書き直しの要請もありうる。
2. 著作権：本誌が採択し掲載した原稿の著作権は、すべて日本ダンス・セラピー協会に所属する。版権使用については編集委員会に届け承認を得る必要がある。
3. 倫理規定：日本ダンス・セラピー協会倫理規定を順守すること。特に事例報告や実践報　告における研究は世界医師会総会（World Medical Assembly）にて承認されたヘルシンキ宣言（1964年承認、2008年追加）の精神に則るとともに、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」（平成20年厚生労働省告示第415号、平成21年4月１日より施行）に従わなければならない。
4. 表題・抄録などの表示：総説、原著、研究報告、症例報告、資料の区分は全て、日本語の他に欧文による題名、所属、氏名をつけ、別紙に欧文による300語以内の抄録を和文訳とともに提出する（原則として欧文は英語）。短報、活動報告、その他はこの限りではない。投稿時にはネイティブチェックまたは英文校閲業者等により校閲済であること。

なお、原稿の表題ページには、

* 1. 総説、原著、研究報告、症例報告、資料、短報、活動報告などの別
  2. 和文・欧文それぞれによる3～5語のキーワードを明記する。

1. 原稿の規定字数など：原則として区分ごとに以下の通りとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 原稿の区分 | 上限字数 |
| 1.総説、2.原著、3.研究報告、4.症例報告、5.資料  6.短報、7.活動報告  8.その他 | 16,000字  1,600～3,200字  編集委員会で協議 |

A4版で40×40字で、横書きとする。本体は「～である」調、新かなづかい、常用漢字、算用数字を用いる。写真掲載（アート紙）等の費用は著者負担とする。

1. 引用文献：必要最小限度とし、本文の最後に引用順に文献番号を振る。表記は医学雑誌の国際統一規定Vancouver Styleに準ずる。定期刊行物の表記は「著者名，論文名，誌名，発行年；巻（号）：ページ」の順、単行本の表記は「著者名，書名，発行年，発行所：発行地，引用ページ」の順とする。共著者は3名までとし、それ以上の場合は「他」と記す。
2. 外国語論文：英語のみ認める。その際、5,000語を限度とする。投稿の際は、300語以内の要約を和文訳とともに提出する。その他の点は、1～9に記した条件と同じである。
3. 原稿の送付：原稿はMicrosoft Wordで作成し、E-mailに添付して提出する。

＜投稿に関する問い合わせ・原稿の送付先＞  
〒069-8555　北海道江別市文京台11番地

札幌学院大学臨床心理学科　葛西研究室内

日本ダンス・セラピー協会 学術研究誌編集委員会事務局  
E-Mail：journal@jadta.org

TEL: 011-386-8111

FAX: 011-386-8113

参考：｢ダンスセラピー研究」投稿規定の補足説明

○引用文献の書き方(Vancouver方式)について

・出典を示すべき記述の直後に文献番号を置く。文献番号は算用数字を用い、丸かっこ (1) やかぎかっこ [1] に入れたり、上付き 1 にしたり、かっこに入れて上付き [1] にしたりする。

・引用文献には本文での引用順に文献番号を振って列挙し、書誌(文献の情報)を書く。

～記載例～　(なお、文献番号は論文全体で同一の方法を用いること)

―　本文：

「…の平井(2002)１）の論点はLevy(1992)２の翻訳(町田、2018）［３］に…。」

―　引用文献：

１）Hirai, T. Effect of slow movement execution on Event-related Potentials(P300). Perceptual and Motor Skills. 2002; (93):387-396.

２）Levy, J. Fran. Dance Movement Therapy, A Healing Art. 1988 National Dance Association, American Alliance for Health, Physical Education, Recreation, and Dance: 00-00

３）町田章一(訳)『ダンス・ムーブメントセラピー　癒しの技法』2018岩崎学術出版社: 000

○書誌(文献情報)の書き方　(以下は「投稿規定」の引用)

・定期刊行物の表記は「著者名，論文名，誌名，発行年；巻（号）：ページ」の順、単行本の表記は「著者名，書名，発行年，発行所：発行地，引用ページ」の順とする。

以上

日本ダンス・セラピー協会学術研究誌編集委員会 2019